

2007年度

M6カリキュラム

臨床実習Ⅲ

医学総括

2007年4月～2007年12月

2002年入学第29回生用

筑波大学医学専門学群

病 院 実 習 時 の 基 本 的 態 度

- ・ 病院は社会そのもの！ 学生気分を捨て社会人1年生として挑むこと。
- ・ 身だしなみ、髪型なども社会人としてみられていることを自覚すること。
- ・ 朝夕の挨拶をきちんとすること。
- ・ 病気で悩んでいる患者さん、医師、看護師、スタッフの立場でも必ず考えること。

筑波大学医学群医学類の教育目標

筑波大学医学群医学類学生の卒業時点での到達目標は、基本的な臨床能力および基礎的な医学研究能力をそなえた医師である。

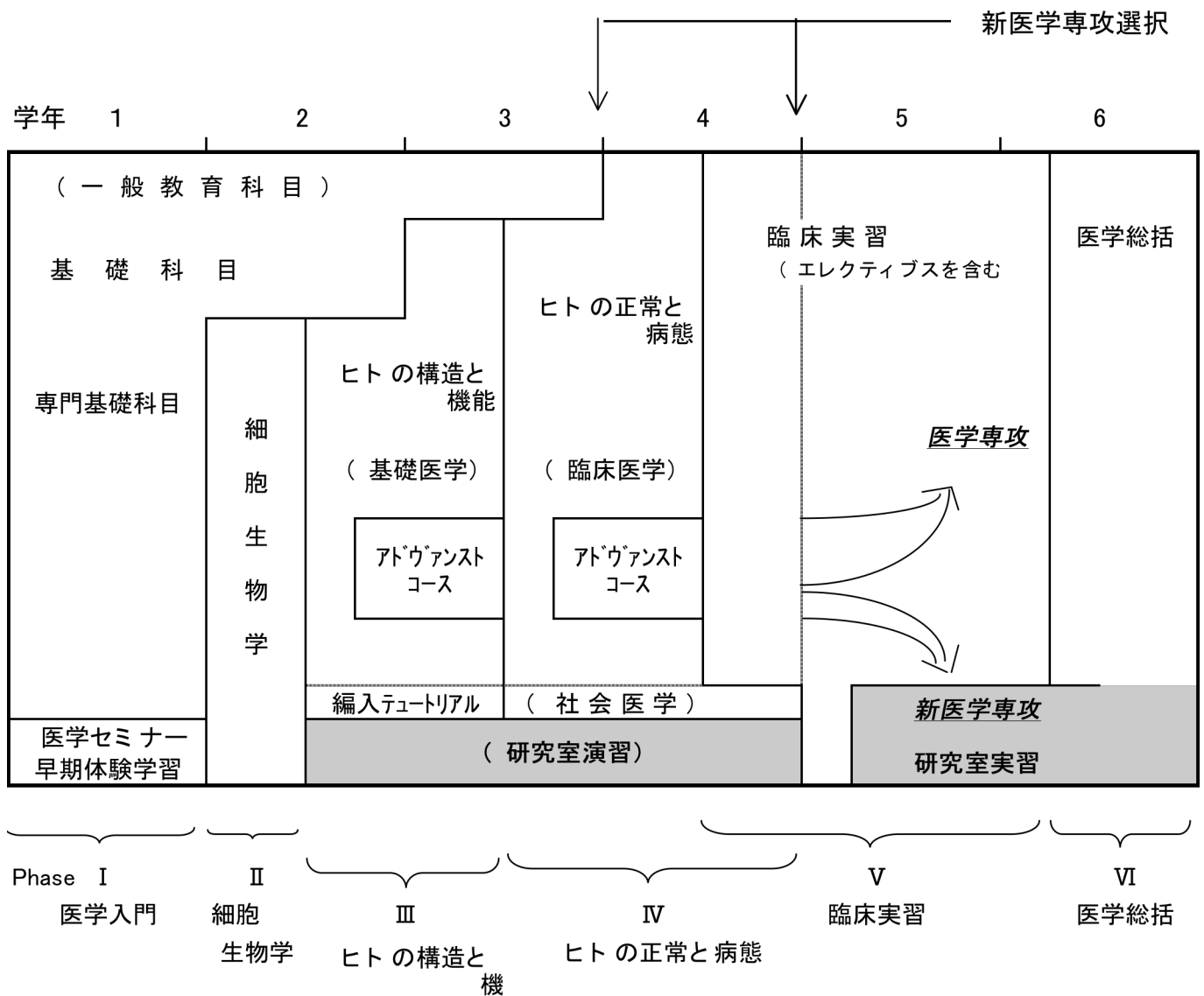
すべての卒業生はここから出発して、将来すぐれた医師（一般臨床医・専門医）、医学教育者、医学研究者あるいは保健・医療・福祉行政者として、それぞれの分野で医学を通して社会に奉仕し貢献することが期待される。

この教育目標に向って、学生は学習行動において次のことが要求される。

1. 人間個体はもちろん、地域・社会あるいは人類全体の医学上の問題を正しくとらえ、自ら解決するために必要な基本的知識と技能を身につける。
2. 患者に対する医師としての責任感、倫理感を養い、正しい態度、習慣を身につける。
3. 生涯にわたり学習・研究を続けるために、自己開発の能力、自己評価の習慣を身につける。
4. チーム活動において協調し、建設的に行動できる態度と習慣を身につける。

第6年次カリキュラムの概要

筑波大学医学専門学群における第6年次学生のカリキュラムは、6年一貫教育のPhase Vの一部とPhase VIに相当し、「臨床実習Ⅲ」と「医学総括」の科目から成り、臨床実習（又は研究室実習）、公衆衛生実習、総括講義、CPCと卒業試験が組み込まれている。



オリエンテーション

1. このカリキュラムは、医学専門学群第6年次学生を対象とするものである。
2. 「臨床実習Ⅲ」は3つのコースに分かれている。
 - A) 学外教育協力病院実習コース (Electives、海外実習を含む)
 - B) 筑波大学附属病院臨床実習コース (Electives を含む)
 - C) 研究室実習コース (新医学専攻および医学専攻の希望者)「医学総括」は総括講義及び臨床病理検討会 (CPC) により成り立っている。
3. 学内臨床実習は筑波大学附属病院において行う。
4. 研究室実習は筑波大学基礎医学系、臨床医学系又は社会医学系において行う。
5. Coordinator の氏名は以下のとおりである。

このカリキュラムについて不明の点があれば、各 Coordinator 又は学群教務 (029) 853-3018,3019 に問い合わせること。

総 Coordinator	朝田 隆・落合 直之
教育協力病院、筑波大学附属病院における臨床実習及び研究室実習	
コース # 1 一般臨床・内科	青 沼 和 隆
コース # 2 一般臨床・外科	金 子 道 夫
コース # 3 小児臨床	松 井 陽
コース # 4 婦人・周産期臨床	吉 川 裕 之
コース # 5 精神臨床	朝 田 隆
コース # 6 研究室実習	中 谷 陽 二
Electives	朝 田 隆・落 合 直 之
CPC	野 口 雅 之・附属病院長

総括講義及び試験

コース# 1	運動系臨床	落 合 直 之
コース# 2	眼系臨床	大 鹿 哲 郎
コース# 3	耳鼻咽喉系臨床	原 晃
コース# 4	皮膚系臨床	大 塚 藤 男
コース# 5	精神臨床	朝 田 隆
コース# 6	呼吸系臨床	本 間 敏 明・鬼 塚 正 孝
コース# 7	循環系臨床	青 沼 和 隆・榊 原 謙
コース# 8	消化系臨床	兵 頭 一之介・大河内 信 弘
コース# 9	血液系臨床	小 島 寛
コース#10	自己免疫系臨床	住 田 孝 之
コース#11	神経系臨床	玉 岡 晃・松 村 明
コース#12	内分泌代謝系臨床	山 田 信 博・植 野 映
コース#13	腎・泌尿系臨床	山 縣 邦 弘・赤 座 英 之
コース#14	診断治療総論 I	南 学・川 上 康
コース#15	診断治療総論 II	田 中 誠・寺 島 秀 夫
コース#16	小児臨床	松 井 陽・金 子 道 夫
コース#17	婦人・周産期臨床	吉 川 裕 之・臼 杵 哲
コース#18	人間集団医学	高 橋 秀 人・森 田 展 彰
コース#19	感染症	人 見 重 美
コース#20	医療総論	朝 田 隆・落 合 直 之

臨 床 実 習 Ⅲ

1. 臨床実習等

1 一般学習目標 (G I O)

(技 能)

- 1) 一般診療の基本的技能を習得する。
- 2) 患者の問題を正しくとらえ、それを自ら解決する能力を身につける。
- 3) チーム診療を理解し、診療チームの一員として行動する能力を身につける。
- 4) 多数の病像を体験し、診断、治療技術の向上をはかる。
- 5) 家庭医としての基本的技能を習得する。
- 6) 特殊診療の基本を理解する。

(態度、習慣)

- 7) 患者を全人的に把握し、患者から医学を学ぶ態度を身につける。
- 8) 医師としての倫理的原則を理解する。
- 9) 職業に対する責任感を培う。
- 10) 医師に必要な習慣を身につける。

(知 識)

- 11) 臨床医学を総合的に学び、医学の進歩に対応できる知識と能力を習得する。
- 12) 家庭医に必要な診断、治療および予防の基礎的知識を習得する。
- 13) 地域医療を理解し、地域の保健、医療に対し正しい展望をもつ。
- 14) 病人に対するすべての社会的救済法を学ぶ。

学外教育協力病院における臨床実習では、特に次の点が重要である。

- 1) 大学病院で経験するより広い臨床分野を学習する。
- 2) 大学病院の実習を補い、さらに十分な臨床例を多数経験する。
- 3) 各教育協力病院が筑波大学附属病院とは異なる特殊性及その役割を理解し、特殊性についてはその知識と技術を学習する。各教育協力病院等の規則を厳守する。
- 4) 技能については、ことに指導医の指示に従う。
- 5) 地域の保健、医療に対する理解を深める。

筑波大学附属病院における臨床実習では、特に次の点が重要である。

- 1) 筑波大学附属病院における専門的臨床分野を学習し、多くの臨床例を経験する。
- 2) 筑波大学附属病院における特殊性と役割を理解し、専門分野における知識と技術の基礎を学習する。
- 3) 技能については指導医の指示に従う。
- 4) 臨床研究を理解し学習する。

筑波大学基礎医学系・臨床医学系・社会医学系研究室実習では、特に次の点が重要である。

- 1) 基礎医学・臨床医学・社会医学研究の重要性を理解し、基本となる研究の知識と技術を学習する。
- 2) 指導教員より各種の技術手技法を習得する。

2 実習内容

- 1) 履修時期：平成19年4月2日（月）から6月22日（金）まで。

- 2) 実習領域と履修期間

- A) 学外教育協力病院臨床実習コース

【必修】一般臨床内科1週、精神臨床1週

【選択】一般臨床外科、小児臨床、婦人・周産期臨床の3科から2科を選択し、各1週ずつ
実習および Electives 3週

- B) 筑波大学附属病院臨床実習コース

各自希望する診療科を2週ずつ2診療科を選択し実習および Electives 3週

- C) 研究室実習コース（新医学専攻）

基礎医学系、臨床医学系、社会医学系より1研究グループを選択。

1・3 臨床実習の一般的注意

A 心構え

臨床実習は多数の患者さんを対象とし、病院という複雑な機構の中で行われるので、次のような心構えが必要である。

- 1) 患者さんは苦痛や悩みをもった一個の人格であり、一般社会人である。患者さんに接する際には、生命に対する敬虔な気持と温かい思いやりを持って、“勉強させていただく”という謙虚な姿勢を示すことが大切である。かりそめにも、患者さんを学習の material として扱うようなことをしてはならない。
- 2) 病院では、患者さんの健康を回復させるために、医師、看護師、医療技術者および事務職員等が緊密な連携のもとに、日夜真剣に働いている。学生にはこのような病院の使命と機能を十分に理解し、そのチームワークの一助となるよう、つねに病院のルールと指導医の指示に従って行動しなければならない。

B 具体的注意事項

(服 装)

- 1) つねに身なりを整え(服装・髪型)、患者さんに不快な印象を与えないようにする。
- 2) 診察着はいつも清潔なものを着用すること。
- 3) 学群の指定する学生用名札を診察着の胸ポケット上部に着用すること。
- 4) 病院内では原則として上履にはきかえること。はきものは音のしないゴム底のものが望ましい。
- 5) つねに聴診器、腱反射用ハンマー、ペン型ライトを携行すること。

(持参すべき物)

- 6) 保険証及び医学生総合補償制度加入者票のコピー。
- 7) 各種抗体やワクチン接種の有無を自分で記載したもの。
- 8) 実習で経験してきたことを実習先に提示できるように簡単に記載したもの。

(患者さんとの対応)

- 9) 病室で受持ちの患者さんをはじめて診察するときは、自分の名前を告げ、挨拶をすること。
- 10) 朝の挨拶をすること。
- 11) 患者さんにわかる言葉で話をする。
- 12) 不用意、不注意な発言を慎むこと。
- 13) 患者さんの話に耳を傾け、聞き上手になること。
- 14) 患者さんの訴え(言葉の表情)に対し、よき理解者となること。患者さんの訴えは細大もらさず主治医に報告すること。
- 15) 検査データ、薬剤の種類など診断、治療、予後に関することは、勝手に患者さんに説明しないこと。

(診 療)

- 16) 診察前に手洗いまたは手指の消毒を励行すること。
- 17) 毎日、朝夕最低2回は患者さんを診察すること。
- 18) 朝の診察は原則として主治医の立ち合いの下に行うこと。
- 19) 診察は真剣に、謙虚に、誠意をもって行うこと。
- 20) 患者さんの嫌がる部位は最後に診察すること。
- 21) 診察の結果を患者さんの前で無闇に口にしないこと。

(守秘義務)

22) 診察上知り得た患者に関する情報は決して他人にもらしてはならない。

(個人情報取り扱い)

臨床実習では、『不要な個人情報は受け取らない』・・・を原則とするが、実施上では様々な情報を扱わざるを得ない。そこで、

23) 患者リストには学籍番号・氏名を記入して使用、終了時には返却又はシュレッダーで処分する。

24) 紙ベースの紛失等も「個人情報保護法」に抵触する。

医療情報を病院外へ持ち出さない。

25) USBに情報を入れて持ち歩くのは大変危険です。最低限でも認証機能つきのものか暗号化をすること。

(整理整頓)

26) ナースステーション、処置室、医師室、検査室においては、資料、図書、器具などを使用後速やかに所定の位置に戻す習慣を身につけること。

27) 私物は原則として病院内へ持込んではならない。

(その他)

28) 病院内では全面禁煙となっているので絶対喫煙しないこと。

29) 病院内では、食堂以外の場所で飲食しないこと。

30) 時間を厳守すること。実習は夕方5時で終了するとは限らない。

31) 当直でなければ経験できないこともあるので、積極的に参加すること。

32) 欠席、遅刻、早退するとき、体調のすぐれないとき、または所定の場所を離れるときは、主治医または指導医に必ず連絡すること。

33) 実習中は受け身にならず積極性をもってあたること。

34) 所定の实習時間以外に病院を利用したときは指導医に願い出て、許可を受けること。

35) 病院の電話を私用に使ってはならない。

36) 実習中は、携帯電話・ポケットベル等のスイッチは必ず切っておくこと。

1・4 評価

1) 教育協力病院の指導医の評価

知識、技能、態度、総合評価の評価を記入した評価表が教育協力病院の指導医から総 Co-ordinator に送付される。評価は次の共通の基準により、「良い・普通・悪い・特に悪い」の4ランクに分けて行われる。

知 識 臨床医学全般に関する常識。症状・診断・治療に関する知識。専門用語の理解。

技 能 患者面接の技能。病歴を聴取し記載する技能。診療技術全般

態 度 実習における積極性。実習生としての服装。時間の遵守。患者に対する礼儀、態度、言葉遣い。指導医・その他の医療従事者に対する礼儀、態度。

総合評価 知識・技能・態度の評価と出席日数をもとに総合的に評価

良 い：第6年次学生として期待以上

普 通：第6年次学生として期待どおり、標準並

悪 い：第6年次学生として期待より劣る

特に悪い：医師となるものとして不適格なほど悪い

2) レポートによる評価

学生は実習終了後、6月26日（火）17時までに下記の書類を学群教務へ提出すること。

- ①『期待される医師像』とは？（数項目あげてください）
- ②臨床実習経験症例表（各診療科ごと）
- ③M6実習に関するアンケート

3) 試験・面接による評価

7月19日（木）OSCE実施 詳細については、掲示する。

1・5 Electives

1) 一般学習目標

- ①各自希望する領域の見学・実習を行い、卒後進路の決定に資する。
- ②各自希望する事項を研修し、知識・技能の弱点を補強する。

2) 学習方法

- ①筑波大学以外の施設における見学・実習は、総 Co-ordinator の指導を受けて行う。
- ②筑波大学における Electives は、当該事項に関係する教員の指導を受けて行う。

3) 評価

学生は6月26日（火）17時までに所定の Electives 報告書を学群教務に提出すること。

1・6 グループ別履修表

週 期間 グループ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	備 考
	4/ 2 □	4/ 9 □	4/16 □	4/23 □	4/30 □	5/ 7 □	5/14 □	5/21 □	5/28 □	5/31 □	6/ 4 □	6/11 □	6/18 □	
	4/ 6	4/13	4/20	4/27	5/ 4	5/11	5/18	5/25	5/30	6/ 1	6/ 8	6/15	6/22	
	(5 日)	(5 日)	(5 日)	(5 日)	(2 日)	(5 日)	(5 日)	(8 日)		(2 日)	(5 日)	(5 日)	(5 日)	
A	自 己 学 習	自己学 習	研究 室	研究 室	自己学 習	エ レ ク テ イ ブ ス	エ レ ク テ イ ブ ス	公 衆 衛 生 実 習	自己学 習	エ レ ク テ □ ブ ス	7 月 19 日 (木) OSCE (予定)			
B		自己学 習	エ レ ク テ イ ブ ス	エ レ ク テ イ ブ ス	自己学 習	研究 室	研究 室		自己学 習	エ レ ク テ □ ブ ス				
C		自己学 習	附 属 病 院	附 属 病 院	自己学 習	エ レ ク テ イ ブ ス	エ レ ク テ イ ブ ス		自己学 習	エ レ ク テ □ ブ ス				
D		自己学 習	エ レ ク テ イ ブ ス	エ レ ク テ イ ブ ス	自己学 習	附 属 病 院	附 属 病 院		自己学 習	エ レ ク テ □ ブ ス				
E		自己学 習	エ レ ク テ イ ブ ス	エ レ ク テ イ ブ ス	自己学 習	エ レ ク テ イ ブ ス	エ レ ク テ イ ブ ス		自己学 習	附 属 病 院				
F		自己学 習	エ レ ク テ イ ブ ス	エ レ ク テ イ ブ ス	自己学 習	エ レ ク テ イ ブ ス	エ レ ク テ イ ブ ス		自己学 習	エ レ ク テ □ ブ ス				
G		自己学 習	研究 室		自己学 習	附 属 病 院			自己学 習	附 属 病 院				
H		研 究 室 実 習 (新医学専攻)							研 究 室 実 習 (新医学専攻)					
I	海 外 実 習													

研究室実習
腎泌尿器外科

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 学系棟8階832 集合時刻 8:30
指導教員氏名 及川 剛宏、常楽 晃

2. **学習目標**

泌尿器悪性腫瘍を中心として、基礎研究、臨床研究の目的や方法を理解し、実際の基本手技を見学・経験する。

3. **指導教員**

赤座 英之、島居 徹、河合 弘二、及川 剛宏、常楽 晃

4. **週間予定表**

	月	オリエンテーション、研究室、抄読会
	火	研究室、基本手技
	水	研究室
	木	研究室
	金	研究室、総括

研究室実習
免疫学

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 総合研究棟D棟318 集合時刻 8:30
指導教員氏名 澁谷 彰

2. **学習目標**

最先端基礎医学研究がどのように行われているかを現場で体験するとともに、免疫学研究の基本的技術を学ぶ。

3. **指導教員**

澁谷 彰
澁谷 和子
本多 伸一郎、田原 聡子

4. **週間予定表**

8:30			10:30	12:00	17:00	18:00
月	ジャーナルクラブ	実験実習				
火	研究討論	実験実習				
水		実験実習				
木	研究討論	実験実習				
金	ジャーナルクラブ	実験実習				

研究室実習
法医学

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 189 (司法会議室) 集合時刻 9:00
指導教員氏名 本田 克也

2. **学習目標**

死体検案及び解剖の基本を修得し、死因判定や個人識別技術を学ぶ。

3. **指導教員**

本田 克也、田中 榮之介

4. **週間予定表**

	月	症例検討、死体検案書の書き方
	火	病理組織検査実習、死体検案・解剖
	水	薬毒物検査実習、死体検案・解剖
	木	血液型・DNA検査実習
	金	法医解剖、検案実習等の総括

5. **注意事項**

白衣持参のこと

研究室実習
精神保健学

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 総合研究棟D棟743 集合時刻 9:00
指導教員氏名 中谷 陽二

2. 学習目標

- 1) 精神保健学の研究に関する基本的な知識・方法論を学ぶ。
- 2) 精神保健学で主に扱われる問題領域について（司法精神医学、発達障害学や被虐待児童への心理ケア、アルコール薬物依存症など）、実際の臨床現場（病院や施設など）に赴き、その実践について体験的に学習する。

3. 指導教員

中谷 陽二、佐藤 親次、森田 展彰

4. 週間予定表

	月	薬物依存症に対する心理的ケアの見学（東京都精神医学総合研究所） ドメスティックバイオレンス加害者に対するプログラムの見学 （原宿クリニック）
	火	精神保健学ゼミに参加 司法精神医学、統計学の勉強会に参加
	水	児童相談所、児童養護施設の見学
	木	東京都立梅が丘病院における実習
	金	精神鑑定の見学および鑑定事例の学習

5. 注意事項

病院や施設においては、利用者やスタッフに対する十分な配慮を行う。
医療情報、個人情報の管理について徹底する。

6. その他

実習期間中に実習生の関心のある課題に関して、レポートを完成させる。

研究室実習
機能形態回復医学

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 病院9階討議室 集合時刻 8:00
指導教員氏名 植野 映

2. **学習目標**

体表臓器の超音波診断学を研究する。超音波組織特性を基に超音波の画像解析を行い、超音波技術ならびに超音波診断学を発展させる。

3. **指導教員**

植野 映、八代 亨、原 尚人、坂東 裕子、東野 英利子、椎名 毅

4. **週間予定表**

8:00		
	月	オリエンテーション 文献の収集 超音波実習
	火	文献の収集 自己学習 超音波の原理をM5, M4に説明
	水	弾性率測定方法を学習 摘出組織の弾性率測定
	木	エラストグラフィの文献的考察 システム情報工学系の見学
	金	エラストグラフィの整理 エラストグラフィ実習

5. **注意事項**

学習したことを学会で発表する

大学附属病院実習
膠原病・リウマチ・アレルギー内科(膠原病内科)

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 530病棟 集合時刻 8:30
 指導教員氏名 BSL担当教員

2. 学習目標

全身性自己免疫疾患の診断と治療の実際を研修すると共に、主要な全身性自己免疫疾患の診断法・治療法の基本的知識の確認・修得をおこなう。

3. 指導教員 氏 名 担当項目

堤 明 人	主要な自己免疫疾患の診断
伊 藤 聡	自己免疫疾患と腎
松 本 功	免疫学と自己免疫疾患
後 藤 大 輔	膠原病治療の実際

4. 週間予定表

		9	10	11	12	13	14	15	16	17
	月	回診	クルズス	病棟業務				オリエンテーション	病棟カンファレンス	
	火	回診		症例検討	病棟業務	病棟カンファレンス	病棟業務			
	水	回診	病棟業務					クルズス		病棟業務
	木	回診	生物学的製剤治療	病棟業務				病棟カンファレンス		
	金	回診	病棟業務					クルズス		病棟業務

5. 注意事項

- ・クルズスに関しては各週、担当教員の都合により予定が変更になるので、第1日目に配布されるM6用の週間予定表にて確認する。
- ・木曜日の午後の回診の開始時間は隔週で変わるので、第1日目にその週の開始時間を確認する。
- ・火曜日の回診は7階討議室にて行い、集合は8:20です。
- ・月曜日と木曜日の病棟カンファレンスは、5階医師室にて行います。

6. その他

上記以外の詳細は、第1日目のオリエンテーションで説明します。

大学附属病院実習
呼吸器内科

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 630病棟医師室 集合時刻 8:40
指導教員氏名 病棟実習担当教員

2. **学習目標**

呼吸器系の構造と機能を理解し、主な呼吸器疾患を受け持ち、病態生理、症候、診断、治療と予後について実習を通して学ぶ。

3. **指導教員**

その週のM4、M5、M6の実習担当教員

大塚 盛男、本間 敏明、佐藤 浩昭、坂本 透、野村 明広、
石井 幸雄、森島 祐子

4. **週間予定表**

13:00			
	月	病棟業務	教授回診 薬剤勉強会（隔週）
	火	肺機能検査	肺機能検査 病棟業務
	水	病棟業務	気管支鏡検査 病棟業務
	木	病棟業務	換気応答検査 病棟業務 病理検討会
	金	助教授回診 肺機能検査	気管支鏡検査 肺機能検査

5. **注意事項**

基本的にレジデントと行動を共にし、病棟業務の補助を行う。
時間厳守、禁煙。服装、行動、礼儀作法には特段の配慮と注意をする。
学びたい意思、協調性のない者は学習意欲が無いものと判断する。

6. **その他**

月曜日が休日の場合、集合時間、場所は同じ。

大学附属病院実習

眼 科

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 200外来 集合時刻 8:50
指導教員氏名 グループ長 ほか

2. 学習目標

①病棟実習：眼科入院患者の入院から退院までのすべてについて、レジデントと共に行動し実習する。

②外来実習：眼科外来患者について、教員あるいはレジデントと共に診療活動に参加する。諸検査・治療を見学・実習すると共に、その一部は教育監督下を実施しうる。

手術室実習：肉眼的手術には、第2助手として手術に加わる。顕微鏡手術では第3助手として準備、器械だしに加わる。

その他：抄読会・カンファレンスなどにも出席する。

3. 指導教員

大鹿 哲郎、加治 優一、岡本 史樹、佐藤 正樹

4. 週間予定表

8:30 8:50			9:00			12:00 13:00 13:30			16:30 17:00 18:00		
	月	レクチャー M5と 合同	レクチャー (大鹿or岡本)					視野・斜視 レクチャー	教授 回診	チャート 回診	
	火	手術室実習						(眼底実習・川名)			
	水		豚眼実習あるいは 白内障・緑内障 レクチャー					病棟実習 外来特殊検査・治療の見学 器械実習			
	木	手術室実習						クルズス (平岡、木内)			
	金		外来実習 (佐藤)					病棟実習 外来特殊検査・治療の見学			

大学附属病院実習
形 成 外 科

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 310外来 集合時刻 9:00
指導教員氏名 遠藤 隆志

2. **学習目標**
形成外科の基礎を学ぶ。
包交を経験する。

3. **指導教員**
遠藤 隆志、富樫 真二、畑 寿太郎

4. **週間予定表**

	月	AM 病棟 PM 外来手術
	火	中央手術
	水	AM 病棟 PM 外来手術
	木	AM 病棟 PM 外来手術
	金	中央手術

大学附属病院実習
感 染 症 内 科

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 病院4F感染管理室 集合時刻 9:30
指導教員氏名 人見 重美

2. **学習目標**

グラム染色の技術を習得する。
基本的な抗菌薬の使用法を理解する。

3. **指導教員**

人見 重美、小金丸 博

4. **週間予定表**

	月	a m ミニレクチャー	p m 病棟ラウンド 検査実習
	火	〃	
	水	外来実習	
	木	検査実習	
	金	外来実習	

大学附属病院実習
腎泌尿器外科

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 学系棟8階討議室(832) 集合時刻 7:45
指導教員氏名 及川 剛宏、常楽 晃

2. **学習目標**

教員あるいはチーフレジデントの指導のもと、ジュニアレジデントと共に患者を受け持ち、診療・治療に携わる。患者との関わりの中で、臨床に必要な技術・心構えを習得できるようにする。

3. **指導教員**

赤座 英之、島居 徹、河合 弘二、宮永 直人、
樋之津 史郎、関戸 哲利、及川 剛宏、常楽 晃

4. **週間予定表**

	月	8:00	9:00	14:30	16:00	18:15
		病棟回診	外来実習	X線カンファレンス	教授回診	抄読会
	火	8:00	9:00	13:00	16:30	
		病棟回診	透視下処理	病棟実習	病棟回診	
	水	8:00	9:00	13:00	16:30	18:00
		病棟回診	外来実習	超音波検査	病棟回答	症例カンファ
	木	8:00	9:00		16:30	
		病棟回診	手術見学		病棟回診	
	金	8:00	9:00	14:00	16:30	18:00
		病棟回診	透視下処置	経直腸超音波	カンファ回診	試問

5. **注意事項**

適宜クルーズを行う予定

大学附属病院実習
麻 酔 科

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 病院A棟3階会議室 集合時刻 7:45
指導教員氏名 山本純偉

2. 学習目標

麻酔の臨床を通して、呼吸・循環管理の実際を学ぶ。
全身麻酔の流れを理解し、マスク換気等 基本手技をマスターする。

3. 指導教員

麻酔診療グループ全教員

4. 週間予定表

7:45		8:15	9:00	10:00		12:00	14:00	16:00	17:00
	月	月曜 カンファレンス		オリエンテーション シュミレーション学習		臨 床 麻 酔			
	火	カンファ レンス	臨 床 麻 酔						
	水	カンファ レンス	臨 床 麻 酔						
	木	カンファ レンス	臨 床 麻 酔						
	金	カンファ レンス	臨床 麻酔	ペ インクリニック 外来	臨 床 麻 酔		シュミレーション学習 (総括)		

5. 注意事項

朝、時間に余裕をもって集合のこと。（特に月曜日は集合場所が異なるので注意）

大学附属病院実習
小児内科

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 E500討議室 集合時刻 8:30
指導教員氏名 鴨田 知博

2. 学習目標

- 1) 小児患者の現病歴、身体所見、既往歴、家族歴をとり、適切な検査・治療計画をたて提示する。
- 2) 小児内科チームの一員として診療に参加する。

3. 指導教員

鴨田 知博

4. 週間予定表

8:30～9:00			12:00	13:30	15:00	16:00	18:00
	月	カンファランス	病棟実習		予防接種 外来		抄読会 ケースカンファランス
	火	カンファランス	病棟実習				
	水	カンファランス	回診	病棟実習			
	木	カンファランス	病棟実習				
	金	カンファランス	病棟実習		乳児 検診		リサーチ カンファランス

5. 注意事項

院内感染防止のため、実習者は常に健康状態を指導教員に報告する。

大学附属病院実習
小児外科

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 E500討議室 集合時刻 7:40 (時間厳守)
指導教員氏名 _____

2. 學習目標

小児・新生児の術前・術後管理の原則を理解する
点滴路、チューブ類の管理が理解できる
検査を協力して行う

3. 指導教員

瓜田 泰久、工藤 寿美、小室 広昭、井上 成一郎、楯川 幸広、堀 哲夫、金子 道夫

4. 週間予定表

*朝の集合時間は水曜日(8時30分集合)以外はすべて7時40分です。
*8時30分から小児科との合同カンファレンスが毎日E500討議室であります。

7:40 8:30～9:00 10:30			午前	午後	17:00 18:30
月	患者報告 教授回診 造影検査			手術のことあり	
火	抄読会・回診 手術（手洗いして参加して下さい）				X線 カンファレンス （病歴室）
水		小児科との 合同カンファレンス	助教授回診 （堀が肝移植外来のため少し遅れる事があります）		X線 カンファレンス （4F 討議室）
木	手術決め 教授回診 造影検査			教授回診 （受け持ち患者のベッドサイドでの プレゼンテーション）	
金	手術報告 手術（手洗いして参加して下さい）				

5. 注意事項

※原則として以上の予定ですが、緊急な用件または講義、会議などにより急に予定が変更になることがたびたびあります。どうぞご理解ください。

※私たちには患者さんのプライバシーを守る守秘義務があります。名前・IDや病名を他人に漏らしてはいけません。これがわかるようなメモも落としたりしてはいけません。気をつけてください。配布された患者リストには、自分の名前を書いて実習終了時に教員に返却してください。

大学附属病院実習
呼吸器外科

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 4階討議室B435 集合時刻 8:00
指導教員氏名 鬼塚正孝

2. 学習目標

診療やカンファレンスに参加して、現在自分の持っている知識を応用して各患者における今後の治療方針を組み立てる。

3. 指導教員

鬼塚正孝

4. 週間予定表

8:00			
	月	カンファレンス	回 診、手 術
	火	カンファレンス	回 診、手 術
	水	カンファレンス	回 診 気管支鏡 (13:00～) 術前検討会 (17:00～)
	木	カンファレンス	回 診、手 術 組織カンファ (18:00～)
	金	カンファレンス	回 診 気管支鏡 (13:00～) 週末カンファ (17:00～)

大学附属病院実習
放射線診断・I V R

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 F棟1階 画像診断室 集合時刻 8:00
 指導教員氏名 南 学

2. **学習目標**
 画像診断の成り立ちとアプローチの方法を実践的に知る

3. **指導教員**
 南 学 及びその週のM5実習担当教員

4. **週間予定表**

	月	午前中にオリエンテーションを行う。オリエンテーションの際にくわしいカリキュラムを配付する。	
	火		本人の希望に応じて、カリキュラムを編成し、病院実習が成果を挙げるべく協力体制を築く！
	水		
	木	画像診断・I V R・放射線治療など	
	金		

5. **注意事項**
- (1) あいさつをすること
 - (2) 自主的に実習に取り組むこと
 - (3) 臨床である事を常に念頭におく

大学附属病院実習
放射線腫瘍科

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 陽子線医学利用研究センター 集合時刻 8 : 30
指導教員氏名 徳植 公一

2. 学習目標
がん治療の中における放射線治療の役割を理解できる。

3. 指導教員
大原 潔、徳植 公一、菅原 信二、中山 秀次、 福光 延吉

4. 週間予定表

	月	放射線治療、外来実習
	火	放射線治療、入院患者ケア実習
	水	放射線治療計画実習
	木	陽子線治療実習
	金	成果まとめとプレゼンテーション

5. 注意事項
上記、順序は外来患者、入院患者の状況により変更します。

大学附属病院実習
消化器内科

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 1130医師室 集合時刻 9:00
指導教員氏名 兵頭一之介

2. **学習目標**

受け持ち患者を通して、消化器疾患の診療の仕方、診断の仕方、診断・治療の
実際を学ぶ。

3. **指導教員**

中原 朗、谷中 昭典、正田 純一、安部井 誠人
松井 裕史、柴原 健、福田 邦明

4. **週間予定表**（空白部分は、病棟実習）

		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
		30										45			
	月		内視鏡検査（内視教室）							肝回診 （11F 討議室）		肝組織			
			腹部超音波 （機能検査室）												
	火											消化管 回診 （11F 討議室）	内視鏡 C （内視 鏡室）	説明会 回診準備 （11F討議室）	
	水		内視鏡 検査 （内視 鏡室）				病棟総回診 （4F読影室）								
	木		内視鏡検査 （内視鏡室）						消化器内科 外科放射線C （11F画像読影室）		消・内 C （10F 討議室）				
			腹部超音波 （機能検査室）												
	金			内視鏡検査 （内視鏡室）						アン ギオ 1 F 読 影 室					

5. **注意事項**

担当医師と行動を共にしてクリニカルクラークシップを実行する。受け持ち患者を毎日診察、
診療録に記載し、担当医のチェックを受ける。毎日実習した事を日記につける。

大学附属病院実習
循環器内科

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 400病棟 集合時刻 8:00
指導教員氏名 青沼和隆

2. 学習目標

循環器内科領域の最新の検査法ならびに治療法を理解する。

3. 指導教員

4/16～4/20: 武安法之(循内)

4/23～4/27: 青沼和隆(循内)

6/11～6/15: 関口幸夫(循内)

4. 週間予定表

	午 前	午 後
月	病棟実習	運動負荷テスト (13:00～) カテカンファレンス、サマリー作成 (17:30～)
火	教授回診 (8:00)	心エコー検査 (13:00～) 症例カンファレンス (17:00～18:30)
水	電気生理検査とカテーテル治療 内科外科合同カンファレンス (18:00～)	
木	電動負荷テスト あるいは病棟	電気生理検査
金	心臓カテーテル検査	心臓カテーテル治療

5. 注意事項

実習期間中は、循環器内科の一員として役割分担し、行動する。適切に(指導医, レジデントの指示に従って)検査、治療に参加するとともに患者やその家族に接すること。

大学附属病院実習
耳鼻咽喉科

1. オリエンテーション 第1日目集合場所 630 討議室 集合時刻 8:45
指導教員氏名 原 晃

2. 学習目標

- 1) 病棟グループに属し、レジデント、教員と共に行動する。
- 2) 所属グループの手術に入り、外来実習も行う。又、各種カンファランスに出席する。

3. 指導教員

原 晃、和田 哲郎、大久保 英樹、田淵 経司、辻 茂希、飛田 忠道

4. 週間予定表

7:30 8:45			12:00 13:00		17:30	
	月		総 回 診		病棟実習 (所見のとり方、画像クルグス)	放射線 カンファランス
	火		病棟実習 (2 週目外来実習)		病 棟 実 習	
	水	抄読会	手 術 実 習			17:00 ～ カンファランス
	木		病棟実習 (2 週目外来実習)		病 棟 実 習	
	金		手 術 実 習			術前 カンファ ランス

5. 注意事項

時間厳守

大学附属病院実習
内分泌代謝・糖尿病内科

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 8F 医師室 集合時刻 8:40
 指導教員氏名 山田 信博

2. **学習目標**

- ① 内分泌代謝疾患を病態生理に基づいて理解できるようになる。
- ② Evidence - Based Medicine (EBM) や行動科学による患者アプローチについて学ぶ。
- ③ 糖尿病教室や教育入院カンファレンスに参加し、患者指導の実際について学ぶ。

3. **指導教員**

島野 仁、鈴木 浩明、高橋 昭光、矢藤 繁

4. **週間予定表**

8:30 9:00		12:00 13:00		17:30	
月	回診	病棟実習		病棟実習	クリニカルカンファレンス
火	回診	病棟実習		病棟実習	回診
水		教授回診		教授回診	教育入院カンファレンス
木	回診	病棟実習		病棟実習	回診
金	回診	病棟実習		病棟実習	回診

5. **注意事項**

実習期間中は、内分泌代謝・糖尿病内科の一員として、レジデントや指導医とともに診療に参加する。
 診療には積極的に参加すること。

6. **その他**

毎日15時から糖尿病教室がある（水曜日のみ14時から）ので、参加すること。

大学附属病院実習
乳腺・甲状腺・内分泌外科

1. **オリエンテーション** 第1日目集合場所 930 討議室 集合時刻 8:00
 指導教員氏名 植野 映

2. **学習目標**

- (1) 癌の発生と進展を理解する。
- (2) 内分泌疾患の制御法を理解する。
- (3) 癌の診断技術を習得し、実践する。
- (4) 癌の外科的治療、薬物療法を理解する。

3. **指導教員**

植野 映、八代 享、原 尚人、坂東 裕子

4. **週間予定表**

	月	8:00 総回診	9:00 手術	13:00 超音波ビデオ自習	17:00 超音波検査	I C
	火	8:00 術後、薬物 カンファレンス	9:00 病棟回診	外来実習	病棟実習	17:00 I C
	水	8:00 病棟回診	8:30 手術	13:00 手術		19:00 病理 カンファレンス
	木	8:00 術前 カンファレンス	9:00 回診	10:00 外来実習	13:00 病棟実習／院外実習	
	金	7:45 病棟回診	8:30 手術	13:00 超音波検査	17:00 I C	18:00 試問

5. **注意事項**

- ① 医師となる誇りをもち、礼儀・作法を守り、身なりを整えること。
- ② 患者様の立場を考え、常にやさしくすること。
- ③ 禁煙
- ④ 診察時は時計をはずすこと。

6. **その他**

- ① 5年生のクルズスへの参加は可。
- ② 外来の見学は各教員に申し出ること。

2. 公衆衛生実習

Coordinator : 我妻ゆき子
戸村 成男
高橋 秀人

1 履修期間

平成19年5月21日（月）から5月30日（水）までの期間（土曜・日曜日を除く）とする。（ただし、5月21日（月）はオープニングセミナー、5月30日（水）は公衆衛生実習発表会を行う。）

2 一般学習目標

地域における公衆衛生活動に参加し、疫学的アプローチ・環境調査・食品衛生・健康管理及び保健・医療・福祉の連携の実際を学ぶ。

3 学習目標

- ① 公衆衛生活動において、予防活動の実際の展開の方法および過程を理解する。
- ② 地域の予防活動や保健・医療・福祉の連携を行う上での関連諸機関の組織的な取り組み方、指導方針等を理解する。
- ③ そのための具体的な各種業務の展開の仕方を理解する。
- ④ 将来における公衆衛生活動の展望について検討する。

4 実習グループ

2～9人の学生が1グループを編成する。（表1）

5 実習施設

水戸保健所	銚田保健所	潮来保健所	日立保健所
竜ヶ崎保健所	土浦保健所	常陸大宮保健所	ひたちなか保健所
つくば保健所	筑西保健所	水海道保健所	古河保健所
茨城県精神保健福祉センター		茨城労働局・㈱日本航空インターナショナル	
東京都立精神保健福祉センター			

6 評価

- ① 評価は次の基準により A・B・C・D の4ランクに分けて、社会医学系教員が行う。
評価の方法は、実習に参加した態度、並びに提出されたレポートに基づき、公衆衛生活動のあり方、それに対するアプローチ、調査結果の分析等の理解力、実行力を試すこととする。

A：優れている B：普通 C：劣る D：著しく劣る

② レポート

公衆衛生実習の成果をグループ毎に作成（A4判ワード使用 10 枚～15 枚程度）した後、学生の責任者が全グループの実習報告をまとめて USB（もしくは CD-ROM）に記録する。全グループの実習報告が記録された USB（もしくは CD-ROM）（フォントを含め形式を統一する）およびプリントアウトした原稿を 8 月 24 日（金）17 時までに学群教務へ提出すること。

（提出前に、レポートの内容について各グループ担当教員の校閲を受けること。）

7 公衆衛生実習の注意事項

1. 保健所等の使命と機能を十分に理解し、チーム・ワークを妨げないよう、つねに保健所等のルールに従って行動すること。
2. 実習にあたっては、指導医又は指導職員の指示に従って行動すること。
3. 服装はきちんとすること。
4. 学群指定の学生用名札を胸ポケット上部に必ず着用すること。
5. 時間を厳守すること。
6. 欠席・遅刻・早退するときは必ず事前に連絡すること。
7. 交通安全に十分注意すること。
8. 実習中は、携帯電話・ポケットベル等のスイッチは必ず切っておくこと。

医 学 総 括

1. 総括講義

1・1 一般学習目標

医学専門学群の統合カリキュラムの最終段階において、これまでの学習により得た知識と技術を臨床医学各領域および社会医学の立場から総括し、医師として必要な基本的臨床能力を身につける。

1・2 学習方法

- 1) 臨床講義室において第6年次全学生を対象として行われる。
- 2) 授業時間は別紙時間割表による。

1・3 学習内容

別表の通りコース#1～コース#20が行われる。

1・4 評価

総括試験

コース#1 運動系臨床

Coordinator：落合 直之

学習項目	Keywords	担当教員
脊柱・末梢神経・筋の疾患外傷	変形性脊椎症、側弯、椎間板ヘルニア、麻痺像、Seddon 分類、絞扼性神経障害、阻血性拘縮、脊髄損傷	落合 直之
上肢の疾患外傷	肩周囲炎、腱板損傷、外反肘、内反肘、手指変形、intrinsic plus、肩脱臼、顆上骨折、外顆骨折、Monteggia 骨折、Colles 骨折、舟状骨骨折	落合 直之
下肢の疾患・外傷	強直性脊椎炎、骨盤骨折、先天性股関節脱臼、ペルテス病、大腿骨頭すべり症、大腿骨頭壊死症、股関節炎、変形性股関節症、大腿骨頸部骨折、外傷性股関節脱臼、半月板損傷、前十字靱帯断裂、変形性膝関節症、コンパートメント症候群、疲労骨折、先天性内反足、外反母趾、アキレス腱断裂、足関節捻挫	石井 朝夫
下肢の疾患・外傷 (2)・腫瘍・感染・系統疾患	骨軟骨腫、内軟骨腫、骨巨細胞腫、骨嚢腫、骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing 肉腫、転移性骨腫瘍、脂肪腫、神経鞘腫、ガングリオン、化膿性骨髄炎、化膿性関節炎、骨・関節結核、軟骨無形成症、脊椎骨端異形成症、骨形成不全症、大理石骨病、多発性骨端異形成症、骨粗鬆症、骨軟化症、くる病、上皮小体機能亢進症	石井 朝夫

コース #2 眼系臨床

Coordinator : 大鹿 哲郎

学習項目	Keywords	担当教員
屈折異常、白内障	屈折異常の種類、発生機序、光学的矯正、手術療法、水晶体疾患	大鹿 哲郎
網膜硝子体疾患	糖尿病網膜症、網膜剥離、眼内異物、眼球破裂、網膜中心静脈閉塞症、網膜中心動脈閉塞症	岡本 史樹
角結膜疾患	角膜炎、結膜炎、角膜変性症、円錐角膜、角膜移植	加治 優一
緑内障	緑内障の種類、病態、点眼薬、手術療法	木内 貴博

コース #3 耳鼻咽喉系臨床

Coordinator : 原 晃

学習項目	Keywords	担当教員
めまいと難聴	聴力検査、めまい検査、誘発電位	和田 哲郎
頭頸部腫瘍と再建手術	手術、抗がん剤・放射線・有茎良弁	和田 哲郎
急性及び慢性中耳炎	難聴、耳痛、ティンパノグラム、伝音難聴	原 晃
慢性副鼻腔炎その他	病態的局所解剖診断法、治療法	原 晃

コース #4 皮膚系臨床

Coordinator : 大塚 藤男

学習項目	Keywords	担当教員
炎症性角化症	乾癬、PUVA	古田 淳一
水疱症	皮膚免疫、蛍光抗体法	市川 栄子
母斑、母斑症	奇形、良性腫瘍、遺伝	川内 康弘
悪性黒色腫	悪性腫瘍、色素、TNM 分類	高橋 毅法

コース#5 精神臨床

Coordinator：朝田 隆

学習項目	Keywords	担当教員
内因性精神障害	統合失調症（精神分裂病）、躁うつ病、非定型精神病	朝田 隆
心因性精神障害	神経症、心身症、摂食障害、人格障害	堀 孝文
身体因性精神障害	器質性精神障害、症状性精神障害、中毒性精神障害	水上 勝義
精神科治療	抗精神病薬、抗不安薬、抗うつ薬、抗てんかん薬、精神療法、電気ショック療法、社会療法	堀 正士

コース #6 呼吸系臨床

Coordinator : 本間 敏明、鬼塚 正孝

学習項目	Keywords	担当教員
呼吸器感染	細菌性肺炎、MRSA 肺炎、マイコプラズマ肺炎、肺真菌症、pneumocystiscarinii 肺炎、おうむ病、抗酸菌感染症、非定型抗酸菌感染症	石井 幸雄
気管支病変	慢性気管支炎、気管支喘息、気管支拡張症、びまん性汎細気管支炎、BOOP	野村 明広
肺実質病変、吸入性肺炎疾患	肺気腫、特発性間質性肺炎、過敏性肺炎、肺線維症、塵肺症、呼吸不全、HOT	大塚 盛男
肺腫瘍	原発性肺癌、良性肺腫瘍、転移性肺腫瘍	佐藤 浩昭
肺循環障害	肺水腫、肺塞栓、原発性肺高血圧症、肺性心	坂本 透
全身性疾患にともなう肺病変・胸膜疾患	肺サルコイドーシス、肺胞蛋白症、膠原病の肺病変、Goodpasture 病、胸膜炎、胸膜中皮腫、気胸	大塚 盛男
呼吸器疾患の外科的治療とくに肺癌治療の現況	開胸術、胸腔ドレナージ、気管切開術、肺癌手術術式、低侵襲手術、手術予後	鬼塚 正孝
縦隔腫瘍とくに胸腺腫の臨床	胸腺腫、重症筋無力症、奇型腫、先天性嚢腫、神経系腫瘍、胸腔内甲状腺腫	石川 成美
気胸と膿胸及び細胞診と肺生検	気胸、膿胸、術後感染、喀痰細胞診、気管支生検、肺生検	酒井 光昭 後藤 行延

コース #7 循環系臨床

Coordinator : 青沼 和隆、榊原 謙

学習項目	Keywords	担当教員
急性心機能不全の臨床的評価	心臓性ショック、低心拍出量症候群、うっ血性心不全、肺性心、中心静脈圧、肺動脈（楔入）圧、心拍出量、Swan-Ganz カテーテル、補助循環	筒井 達夫
慢性心不全の成因と治療	圧負荷、容積負荷、心筋収縮力、不整脈、低塩食、ジギタリス、利尿薬、不応性心不全	酒井 俊
心電図のよみ方、不整脈の診断と治療	左室肥大、心筋梗塞、電解質、刺激生成異常、刺激伝導異常、抗不整脈薬、ペーシング、カテーテル・アブレーション	青沼 和隆
胸部 X 線・心音図・心エコー図	収縮期雑音、拡張期雑音、M モードエコー図、心断層図、ドップラー	河野 了
虚血性心疾患の診断と治療	狭心症、心筋梗塞、抗狭心症薬、リハビリテーション、手術適応、冠状動脈血行再建術、心室中隔穿孔閉鎖術、心室瘤切除術、大動脈内バルーン・パンピング (IABP)	渡邊 重行 榊原 謙
弁膜症の診断と治療	心雑音、心エコー図、心血管造影法、手術適応、弁置換術、人工弁、弁形成術	瀬尾 由広 榎本 佳治
先天性心疾患の診断と治療	心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、肺動脈弁狭窄症、Fallot 四徴症、成人の先天性心疾患、手術適応、低酸素血症、肺血流量、姑息的手術、短絡手術、開心根治手術、人工心臓	堀米 仁志
心筋症・心内膜炎、心膜炎	リウマチ性心内膜炎、感染性心内膜炎、急性心膜炎、慢性心膜炎、肥大型心筋症、拡張型心筋症、心筋炎、左房粘液腫、続発性心筋疾患	河野 了
高血圧の病態と治療	高血圧の分類、二次性高血圧、重症度、眼底所見、脳・心臓・腎の合併症、降圧薬の種類と作用点、降圧薬の副作用、降圧薬の選択	大塚 定徳
血管疾患の診断と治療	大動脈瘤、閉塞性動脈疾患（急性・慢性）、間歇性跛行、安静時疼痛、潰瘍、脱疽、閉塞性静脈疾患、下肢静脈瘤、Homan's sign, Trendelenburg テスト、血栓（内膜）摘除術、交感神経節切除術、血行再建術、ストリッピング、人工血管、自家静脈グラフト	本間 覚 佐藤 藤夫

コース #8 消化系臨床

Coordinator : 兵頭一之介、大河内信弘

学習項目	Keywords	担当教員
胃炎と消化性潰瘍	萎縮性胃炎、腸上皮化生、急性胃粘膜病変 (AGML)、Menetrier 病、胃びらん、十二指腸潰瘍、胃潰瘍、Zollinger-Ellison 症候群、塩酸、壁細胞、ペプシン、ガストリン、ソマトスタチン、粘膜、重炭酸、血流、プロスタグランディン、H2 受容体拮抗剤、プロトンポンプ阻害剤、攻撃因子、防御因子、非ステロイド系消炎鎮痛剤 (NSAIDS)、 <i>Helicobacter pylori</i> 、尿素呼気試験、迅速ウレアーゼ試験、ペプシノーゲン、除菌治療、アモキシシリン、クラリスロマイシン	谷中 昭典
大腸の遺伝性疾患と炎症性疾患	遺伝子異常、APC、HNPCC、FAP、Gardner 症候群、Peutz-Jeghers 症候群、Cronkhite-Canada 症候群、EMR、細菌性腸炎、大腸結核、放射線性大腸炎、潰瘍性大腸炎、Crohn 病、IVH、TPN、ED、大腸憩室、ベーチェット病、吸収不良症候群、蛋白漏出性胃腸症、過敏性腸症候群、虚血性腸炎	中原 朗
消化管の悪性腫瘍	早期食道癌、進行食道癌、早期胃癌、進行胃癌、肉腫、悪性リンパ腫、消化管間葉系腫瘍 (GIST)、大腸腺腫、早期大腸癌、進行大腸癌、肉眼分類、直腸指診、内視鏡検査、造影検査、組織検査、集団検診、免疫便潜血反応、腫瘍マーカー (CEA, AEP)、悪性サイクル、Virchow 転移、Schnitzler 転移 (Douglas)、Krukenberg 腫瘍、外科的治療、内視鏡的治療 (EMR, ESD)、放射線治療、抗癌剤 (化学療法)	兵頭一之介
肝炎・肝硬変	A 型・B 型・C 型肝炎、劇症肝炎、自己免疫性肝炎、薬剤性肝障害、アルコール性肝障害、甲型乙型肝炎、原発性胆汁性肝硬変、ヘモクロマトーシス、食道静脈瘤、高アンモニア血症、肝性昏睡、腹水、特発性門脈圧亢進症、原発性硬化性胆管炎	福田 邦明
肝、胆、膵、悪性腫瘍	脂児性蛋白、肝細胞性肝癌、胆管細胞性肝癌、胆管癌、膵癌、インスリノーマ、WDHA 症候群、胆のう小隆起性病変、膵・胆管合流異常	正田 純一
胆石症、膵炎	コレステロール胆石、浮遊胆石、色素胆石、黒色石、コレステローシス、急性閉塞性化膿性胆管炎、アデノミオマトーシス、急性膵炎、慢性膵炎、セクレチン、アミラーゼ、重炭酸塩、PS テスト、膵石症	安部井誠人

学習項目	Keywords	担当教員
食道疾患の外科治療	手術適応、治癒切除、非治癒切除、食道癌手術、食道再建術、食道静脈瘤治療法（非観血的治療法、観血的治療法）、アカラシア手術法、食道裂孔ヘルニア手術法、食道外瘻造設術、食道バイパス術、化学・放射線療法（CRT）	寺島 秀夫
胃疾患の外科治療	縮小手術、標準手術、拡大手術、神経温存、パウチング手術、センチネルリンパ節ナビゲーション手術、腹腔鏡（補助下）手術、姑息手術、術後合併症、胃切除後症候群	稲川 智
小腸・大腸の外科治療	腸管吻合術、小腸切除術、回腸人工肛門造設術、虫垂切除術、結腸切除術、直腸癌手術、肛門括約筋温存直腸切除術（超低位前方、低位前方、結腸囊手術）、腹会陰式直腸切断術、Hartmann 手術、側方郭清、自律神経温存側方郭清、大腸全摘術、人工肛門造設術、イレウス解除術、直腸癌術後合併症、Dukes 分類、痔核根治術、J 型回腸囊肛門（管）吻合術、小腸狭窄拡張術、鏡視下手術、化学・放射線療法、シートン法	山本 雅由
膵・脾疾患の外科治療	膵癌手術、膵頭十二指腸切除術（Pancrectoduodenectomy : PD）、PD 後再建術（Whipple 法、Child 法、今永法）、幽門輪温存 PD、膵体尾部切除、リンパ郭清・神経叢郭清、膵液漏、胃内容排出遅延、膵管空腸吻合術、慢性膵炎手術、膵嚢胞腸管吻合術、急性膵炎手術、膵床ドレナージ、摘脾術	小田 竜也
肝・胆道疾患の外科治療	肝切除術、肝ドレナージ術、肝嚢胞手術法、肝予備能、肝移植、胆嚢摘出術、胆道外瘻造設術、内視鏡的胆嚢摘出術、肝外胆管切除術、胆道内瘻術、載石術、十二指腸乳頭形成術、拡大胆嚢摘出術、肝膵十二指腸切除術、集学的治療	大河内信弘
術前術後管理	手術侵襲と生体反応、術前状態の評価と管理、術後管理、Vital sign、術後合併症と対策、体液バランス、栄養法（経口、経静脈経腸、高カロリー輸液）、Multiple Organe Failure（MOF）、Disseminated Intravascular Coagulation（DIC）、Systemic Inflammatory Response Syndrome（SIRS）、Second Attack Theory	寺島 秀夫

学習項目	Keywords	担当教員
歯・口腔疾患概論 1	口腔外科、口腔出血、口唇・頬・舌・口腔底の炎症、嚢胞、腫瘍	吉田 廣
歯・口腔疾患概論 2	顎骨・顎関節・唾液腺の炎症、嚢胞、腫瘍、顎顔面補綴、兔唇、口蓋裂、顎変形症、顎骨骨折	吉田 廣

コース #9 血液系臨床

Coordinator : 小島 寛

学習項目	Keywords	担当教員
貧血症	赤血球指数、欠乏性貧血、溶血性貧血、不応性貧血、再生不良性貧血	長谷川雄一
出血傾向	血小板量の異常、血小板質的異常症、凝固異常症、血栓性疾患、抗血栓療法	小島 寛
造血器腫瘍 (1)	急性白血病、多発性骨髄腫、悪性リンパ腫、リンパ増殖性疾患	小島 寛
造血器腫瘍 (2)	慢性骨髄増殖性疾患、骨髄異形成症候群、骨髄移植、	長谷川雄一
輸血の実際	適正輸血、保存法、成分輸血、輸血副作用	松井 良樹

コース #10 自己免疫系臨床

Coordinator : 住田 孝之

学習項目	Keywords	担当教員
全身性エリテマトーデス (SLE)、Sjögren 症候群	subacute cutaneous lupus erythematosus、CSF Ig index、抗カルジオリピン抗体、抗リン脂質抗体症候群、免疫抑制薬、Keratoconjunctivitis sicca、sicca complex、抗 SS-A 抗体、抗 SS-B 抗体、Pseudo lymphoma	伊藤 聡
RA、MRA、成人発症 Still 病	滑膜炎、サイトカイン、リウマトイド因子、診断基準、関節外症状、Steinbrocker 分類 (病期、機能障害)、非ステロイド性抗炎症薬 (NSAID)、遅効性薬剤、若年性関節リウマチ	住田 孝之
全身性硬化症、多発性筋炎・皮膚筋炎、混合性結合組織病 overlap 症候群、UCTD (分類不能症候群)	抗 topoisomerase I 抗体 (抗 Sc1-70 抗体)、抗セントロメア抗体、CREST 症候群、Raynaud 現象、proximal scleroderma、sclerodactylia、間質性肺炎、scleroderma renal crisis、heliotrope 疹、Gottron 徴候、creatine kinase (CK)、抗 Jo-1 抗体、抗 nRNP 抗体、肺高血圧症	松本 功
血管炎症候群、リウマチ性多発筋痛、Behçet 病	壊死性血管炎、抗好中球細胞質抗体 (ANCA)、巨細胞動脈炎、高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発動脈炎、Wegener 肉芽腫炎、Churg-Strauss 症候群、Henoch-Sch nlein 紫斑症、本態性クリオグロブリン血症性紫斑病、皮膚白血球破壊性血管炎、過敏性血管炎	堤 明人

コース #11 神経系臨床

Coordinator : 玉岡

晃、松村 明

学習項目	Keywords	担当教員
頭部外傷	急性頭蓋内血腫、慢性硬膜下血腫、進行性頭蓋骨折、髄液漏、脳挫傷、脳神経損傷、治療、びまん性軸索損傷	鮎澤 聡
脳腫瘍	下垂体腫瘍、神経鞘腫、髄膜腫、松果体部腫瘍、転移性脳腫瘍、神経膠腫、頭蓋内圧亢進症状	松村 明
脳血管障害	脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、高血圧、高脂血症、脳動脈瘤、脳動静脈奇形、もやもや病、内科的治療、外科的治療、脳血管内治療	鈴木 謙介
小児脳神経外科	乳児水頭症、頭蓋縫合早期癒合症、二分脊椎、頭蓋骨椎骨移行部奇形、脊髓空洞症、	榎本 貴夫 (つくばセントラル病院)
変性疾患、機能性疾患、先天代謝疾患、内科疾患に伴う神経症状、中毒性疾患	アルツハイマー病、筋萎縮性側索硬化症、Kugelberg-Welander 病、頭痛、てんかん、Werdnig-Hoffman 病、めまい、本態性振戦、Wilson 病、Lesch-Nyhan 症候群、膠原病、内分泌疾患、肝性脳症、尿毒症性脳症、悪性腫瘍の遠隔効果、ビタミン欠乏症、薬物・重金属・CO・アルコール・生物毒素中毒	玉岡 晃
大脳基底核と小脳の神経疾患	パーキンソン病、パーキンソン症候群、ハンチントン病、ジストニア症候群、アテトーゼ、舞蹈病、脊髓小脳変性症、トリプレットリピート病	渡邊 雅彦
脊髓疾患、末梢神経疾患	前脊髓動脈症候群、脊髓出血、脊髓腫瘍、脊髓硬膜外腫瘍、横断性脊髓炎症、脊髓空洞症、後縦靱帯骨化症、末梢神経伝導速度検査、腓腹神経生検、Guillain-Barré 症候群、慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー、Charcot-Marie-Tooth 病、アミロイドーシス、糖尿病性ニューロパチー、ビタミン欠乏性ニューロパチー、薬剤性ニューロパチー、癌性ニューロパチー、血管炎症候群、絞扼性ニューロパチー	石井 一弘
感染症、脱髄疾患、筋疾患	髄膜炎、ウイルス性脳炎、亜急性硬化性脳炎、Creutzfeldt-Jakob 病、HAM、多発性硬化症、急性散在性脳脊髄炎、白質ジストロフィー、進行性筋ジストロフィー、先天性ミオパチー、筋強直性ジストロフィー、重症筋無力症、多発性筋炎、周期性四肢麻痺	石井亜紀子

コース #12 内分泌代謝系臨床

Coordinator : 山田 信博、植野 映

学習項目	Keywords	担当教員
脂質代謝異常	カイロミクロン、VLDL、LDL、HDL、LCAT、動脈硬化	島野 仁
甲状腺疾患（内科）	T3、T4、Free T4、Free T3、TSH、T3 抑制試験、抗甲状腺剤	川上 康
糖尿病	1 型糖尿病（IDDM）、2 型糖尿病（NIDDM）、インスリン療法、糖尿病性昏睡、慢性合併症	山田 信博
副腎疾患・診断と治療	Cushing 症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、adrenogenital syndrome、Addison 病	鈴木 浩明
視床下部・下垂体疾患	TRH test、LH-RH Test、プロモクリプチン試験、メトピロン試験、ITT	曾根 博仁 （お茶の水女子大学）
乳腺疾患	乳癌の疫学、乳癌の診断、手術、乳癌の内分泌療法と化学療法、乳癌温存療法	植野 映
甲状腺疾患（外科）	Basedow 病の治療、Plummer 病の治療、甲状腺結節の種類と診断の進め方、良性腫瘍と悪性腫瘍の治療方針	原 尚人
上皮小体疾患、頸部腫瘍	原発性上皮小体機能亢進症、続発性上皮小体機能亢進症、多内分泌腺腫瘍症（MEN type1, type2）、上皮小体の部位診断法、上皮小体の手術法、頸部腫瘍の診断と治療（先天性腫瘍、頸部リンパ節の炎症、癌の頸部リンパ節転移）	八代 享

コース#13 腎・泌尿系臨床

Coordinator：山縣 邦弘、赤座 英之

学習項目	Keywords	担当教員
原発性糸球体疾患	糸球体疾患の分類、臨床病型分類、組織病型分類、WHO 分類、臨床所見、検査所見、腎生検、治療法、予後 急性糸球体腎炎症候群、急速進行性糸球体腎炎症候群、反復性・持続性血尿、慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群、臨床病型と組織病型の対応	山縣 邦弘
腎不全と血液浄化法	急性腎不全、慢性腎不全、代謝性アシドーシス、高 K 血症、腎性骨異常栄養症、透析アミロイドーシス、血液透析、CAPD、血漿交換療法	富田 知栄
続発性腎疾患	ループス腎炎、アミロイドーシス、糖尿病性腎症、紫斑病性腎炎、妊娠中毒症、腎硬化症、クリオグロブリン血症、骨髄腫、痛風腎	楊 景堯
間質尿細管疾患と遺伝性腎疾患	間質性腎炎、尿細管性アシドーシス、アルポート症候群、良性家族性血尿症候群、多発性嚢胞腎	臼井 丈一
尿路性器腫瘍・副腎疾患	腎細胞癌、腎芽細胞腫、腎血管筋脂肪腫、尿路上皮腫瘍、膀胱腫瘍、腎盂尿管腫瘍、前立腺癌、精巣腫瘍、陰茎腫瘍、原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫	赤座 英之
尿路閉塞性疾患・神経因性膀胱・尿路性器感染症	水腎症、腎盂尿管移行部狭窄症、膀胱尿管逆流症、前立腺肥大症、神経因性膀胱、特異（非特異）的感染症、単純（複雑）性感染症、基礎疾患、腎盂腎炎、膀胱炎、尿道炎、前立腺炎、精巣上体炎、STD、尿路性器結核	関戸 哲利
尿路結石症・男子不妊症・性分化異常・勃起不全・腎移植	尿路結石症、男性不妊症、性分化異常、半陰陽、ターナー症候群、クラインフェルター症候群、XX 男性、ED（勃起不全）、腎移植	河合 弘二
泌尿器科的症候と検査・尿路性器奇形・尿路性器外傷	血尿、膿尿、混濁尿、無尿、乏尿、尿閉、多尿、頻尿、尿失禁、排尿困難、尿沈渣、直腸指診、腫瘍マーカー（AFP、 β HCG、PSA）、KUB、IVP、AP、RP、VCG、TRUS、UFM、UDS、嚢胞腎、馬蹄腎、重複腎盂尿管、尿道下裂、停留精巣、腎血管性高血圧症、尿路外傷、性器外傷	島居 徹

コース #14 診断治療総論 I

Coordinator : 南

学、川上 康

学習項目	Keywords	担当教員
中枢神経系画像診断	脳腫瘍、脳血管障害、中枢神経系奇形、頭部外傷、CT、MRI	阿武 泉
胸部画像診断	肺腫瘍、肺胞性病変、間質性病変、単純写真、CT、縦隔腫瘍	南 学
腹部・骨盤画像診断	胃癌、結腸癌、肝癌、膵癌、血管造影、CT、MRI、腎癌、子宮癌、US	植田 琢也
核医学診断	放射性医薬品、集積機序、脳血流、心筋、SPECT、PET	武田 徹
放射線治療	放射線腫瘍学、集学治療、放射線効果の修飾	大原 潔
Laboratory Medicine (1)	正常値の概念	竹越 一博
Laboratory Medicine (2)	血液・凝固検査・腫瘍マーカー	鈴川 和己
Laboratory Medicine (3)	遺伝子検査	磯部 和正
Laboratory Medicine (4)	免疫血清検査	川上 康
中毒と物理的要因	中毒総論、血液浄化法、特異的拮抗薬、メトヘモグロビン血症、CO、医薬品、農薬、自然毒	水谷 太郎

学習項目	Keywords	担当教員
全身麻酔	ガス麻酔薬、揮発性麻酔薬、血液/ガス配分係数、最小肺胞濃度 (MAC)、静脈麻酔薬、ニューロレプト麻酔、完全静脈内麻酔、基本的モニタリング、麻酔事故	猪股 伸一
伝達麻酔の合併症	局所麻酔薬、局麻薬中毒、脊椎麻酔、脊麻後頭痛、脊麻後脳神経麻痺、高比重液、低比重液、硬膜外麻酔、反射性交換神経性疼痛、交換神経節ブロック、星状神経節ブロック、癌性疼痛、腹腔神経叢ブロック、くも膜下フェノールブロック	田中 誠
各種疾患患者の麻酔	高血圧、虚血性心疾患、不整脈、心不全、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、拘束性肺疾患、糖尿病、甲状腺機能異常、副腎機能異常、肝硬変、低蛋白血症、腎不全、頭蓋内圧亢進、脳虚血、特発性血小板減少症、DIC、重症筋無力症、新生児、高齢者肥満、妊婦、心筋酸素需給バランス、低酸素性肺血管収縮 (HPV)、仰臥位低血圧症候群、Mendelson's syndrome	福田 妙子
脳心肺蘇生法	一次心肺蘇生、二次心肺蘇生、AHA ガイドライン、脳蘇生、脳保護	高橋 伸二
腫瘍	がんの疫学、多段階発癌、転移の機序、転移の臓器特異性、付随症候群、遺伝子の病としてのがん、癌・間質相互作用、抗がん剤の作用機序、治療法とその評価	小田 竜也
手術無菌法、基本的手術操作	洗浄、消毒、滅菌、滅菌のインジケータ、手術部位感染 (surgical site infection:SSI)、予防的抗菌薬投与、CDC	寺島 秀夫
手術前後管理、手術合併症	術前・術後管理、周術期、栄養療法、免疫栄養素、強力インスリン療法、手術適応、Surgical risk、高齢者、手術合併症、Technical complications、High volume hospital	寺島 秀夫

学習項目	Keywords	担当教員
外傷、熱傷ショック 救急処置	外傷の初期治療、熱傷の病態と治療、ショックの診断と治療	佐藤 雅人
顔面の再建	植皮（分層、全層）、局所皮弁、遠隔皮弁、遊離皮弁、特殊な部位の再建（眼瞼、耳介、鼻、口唇、舌、下顎）、機能の再建（眼瞼挙筋、表情筋、顔面神経）	富樫 真二
体表の再建	植皮（分層、全層）、熱傷、悪性腫瘍、放射線障害、乳房再建、胸壁、腹壁の再建、外陰部再建	畑 寿太郎
手の再建（手の外科入門とマイクロサージャリー）	挫滅創、切断指再接着、手の奇形	遠藤 隆志

コース #16 小児臨床

Coordinator : 松井

陽、金子 道夫

学習項目	Keywords	担当教員
小児科総論・消化器肝 胆道疾患	胎児発育曲線、カウプ指数、発達里程標、TORCHES、IUGR、栄養所要量、母乳栄養、乳幼児健康診査、年齢別死因、急性乳幼児下痢症、胆道閉鎖症、新生児肝炎	松井 陽
小児の先天代謝異 常・代謝・内分泌疾患	インスリン依存型糖尿病、小児肥満、低身長、成長ホルモン分泌不全性低身長症、体質性低身長、思春期早発症、先天性甲状腺機能低下症、先天性副腎過形成、くる病、新生児マススクリーニング、酸血症、高アンモニア血症、制限食、ライソゾーム酵素異常	鴨田 知博
新生児疾患、先天奇形	低出生体重児、small-for-dates 児、ハイリスク児、Apgar スコア、分娩外傷、呼吸窮迫症候群、未熟児無呼吸発作、壊死性腸炎、核黄疸、低血糖、メレナ、21 トリソミー、18 トリソミー	宮園 弥生
小児の感染免疫・呼吸 器疾患・アレルギー	ウイルス、細菌、真菌、原虫、予防接種、原発性免疫不全症候群、T 細胞不全、B 細胞不全、クループ・細気管支炎、気管支喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎	須磨崎 亮
小児の心疾患(先天性 心疾患を除く)	川崎病、冠動脈瘤、リウマチ熱、感染性心内膜炎、小児の不整脈、先天性房室ブロック、先天性 QT 延長症候群、新生児持続性肺高血圧、NO 吸入療法、プロスタサイクリン、隣接遺伝子症候群	堀米 仁志
小児の血液疾患・新生 物	好発年齢、成人疾患との相違	福島 敬
小児の腎・尿路疾患、 膠原病	小児腎疾患の分類、急性腎炎、慢性腎炎、ネフローゼ症候群、腎盂腎炎、小児の尿路感染症、尿細管アシドーシス、ファンコニー症候群、腎とカルシウム代謝、SLE、JRA	鴨田 知博
小児の神経・筋疾患	変性疾患、神経系感染症、小児の痙攣、脳性麻痺、精神遅滞、floppy infant、脊髄性筋萎縮症、筋ジストロフィー症、先天性ミオパチー	岩崎 信明 (茨城県立医療大学)

学習項目	Keywords	担当教員
小児画像診断の Minimum Essential	初期卒後研修、MUST（必須事項）、小児虐待	相原敏則（自治医科大学とちぎ子どもセンター準備本部）
小児外科診断治療総論	小児新生児外科疾患の来院時処置、小児の検査、緊急患者の来院時処理、呼吸管理、栄養、感染、外傷	金子 道夫
小児外科腹部疾患の診断と治療	肥厚性幽門狭窄症、胃軸捻、胃十二指腸潰瘍、消化管穿孔、腸閉鎖・狭窄、腸回転異常、メコニウムイレウス、胎便性腹膜炎、壊死性腸炎、Hirschsprung 病、直腸肛門奇形、腸重積、Meckel 憩室、腸管重複症、急性虫垂炎、痔瘻、胆道閉鎖症、胆道拡張症	金子 道夫
小児外科胸部疾患および体表疾患の診断と治療	食道閉鎖症、肺嚢胞性疾患、横隔膜ヘルニア、食道狭窄、食道裂孔ヘルニア、気管軟化症、胸壁異常、臍帯ヘルニア、腹壁破裂、臍瘻、臍ヘルニア、鼠径ヘルニア、陰嚢水腫、停留精巣、精巣回転症、脊髄髄膜瘤、頸部リンパ管腫、甲状舌管嚢胞および瘻、側頸瘻	金子 道夫
小児外科腫瘍の診断と治療	腫瘍性疾患の部位別分類、小児悪性腫瘍の特徴と診断手順、神経芽種、腎芽種、肝癌、奇形腫群腫瘍、横紋筋肉腫、血管腫、リンパ管腫、グループスタディ	小室 広昭

学習項目	Keywords	担当教員
産科婦人科学概論	婦人科腫瘍学、周産期医学、生殖医学、女性医学	吉川 裕之
出生前診断と垂直感染	羊水穿刺、絨毛採取、胎児採血、超音波診断、母体血清マーカー試験、垂直感染、子宮内感染、産道感染、経母乳感染、HBV : hepatitis B virus、HCV : hepatitis C virus、HIV : human immunodeficiency virus、HTLV-1 : human T lymphotropic virus type-1、TORCH : <i>Toxoplasma gondii</i> 、 <i>Treponeme pallidum</i> 、rubella virus、CMV : cytomegalovirus、HSV : herpes simplex virus、parvovirus B19、VZV : varicella herpes zoster virus、 <i>Chlamydia trachomatis</i> 、 <i>Neisseria gonorrhoeae</i> 、GBS : Group B <i>streptococcus</i> 、HPV : human papillomavirus、 <i>Candida albicans</i>	濱田 洋実
個別的妊娠管理と合併症妊娠の対策	妊娠高血圧症候群、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、既往帝王切開妊娠、骨盤位、産科ショック、妊娠継続の可否判定、分娩様式	小畠 真奈
Non-reassuring fetal status と分娩管理	Non-reassuring fetal status、胎児血 pH、acidosis、児頭採血、分娩監視装置、胎児心拍数陣痛図 (CTG)、deceleration、分娩準備状態、分娩誘発法、oxytocin、prostaglandin	重光 貞彦 (龍ヶ崎済生会病院)
不妊症治療の進歩	子宮内膜症、STD、排卵誘発、DDS、Laparoscopic surgery、ART (IUI、GIFT、IVF-ET、顕微授精)、子宮外妊娠、OHSS、多胎、減数手術、Preimplantation diagnosis(PGD/PGS)、借り卵・精子、卵子・精子・胚の凍結保存、卵細胞・受精卵移植、配偶子移植と in vitro 培養、代理母、借り腹、胎盤共有 2 卵生双胎・キメラ、クローン、ES 細胞、環境ホルモン	白杵 〇
子宮悪性腫瘍	SC Junction、予備細胞、扁平上皮化生細胞、核異常細胞、異形成上皮、上皮内癌、浸潤癌、検査・診断、子宮頸癌の臨床進行期分類、子宮体癌の臨床進行期分類、手術療法、放射線療法、化学療法、Neoadjuvant chemotherapy、RALS、A 点線量、B 点線量、HPV	沖 明典

学習項目	Keywords	担当教員
婦人科良性疾患	子宮筋腫、子宮内膜症、子宮腺筋症、良性卵巣腫瘍、絨毛性疾患、性器脱、更年期障害	松本 光司
卵巣悪性腫瘍	組織分類、検査・診断、画像断層法、腫瘍マーカー、進行期分類、手術療法、化学療法	佐藤 豊実

コース #18 人間集団医学

Coordinator : 高橋 秀人、森田 展彰

学習項目	Keywords	担当教員
疫学・衛生統計	疫学概念、記述疫学・分析疫学・患者対照研究、コホート研究、介入研究、集団特性の把握、スクリーニング、疫学指標、人口動態統計、生命表	高橋 秀人
環境保健	環境基本法、地球環境保全、大気汚染、水質汚染、土壌汚染、騒音・振動、悪臭、環境行政、居住環境衛生、ダイオキシン、化学物質審査規制法、PRTR 法	熊谷 嘉人
産業保健	作業環境管理、作業管理、健康管理、衛生教育、労働基準法、労働安全衛生法、労働災害、許容濃度、管理濃度、産業医、THP	松崎 一葉
食品保健・国民栄養	食品衛生法、食中毒、細菌性・ウイルス性食中毒、自然毒、化学物質、食品添加物、食品の安全性、BSE、HACCP、国民栄養、栄養状態の評価、栄養所要量、栄養素、栄養摂取量、国民栄養調査	熊田 薫 (つくば国際短期大学)
母子保健	出生、乳児死亡、新生児死亡、周産期死亡、死産、妊産婦死亡、母子保健法、児童福祉法、母体保護法、労働基準法、男女共同参画社会基本法、育児・介護休業法、母子健康手帳、養育医療、育成医療、健やか親子 21	柳 久子
学校保健	学校保健法、学校環境衛生、学校保健安全計画、学校保健委員会、学校医、保健主事、不登校、自殺、いじめ、伝染病による出席停止、臨時休業、就学時健康診断、定期健康診断、学齢期の好発疾患	森田 展彰
成人保健	生活習慣病、脳血管疾患、心疾患、悪性新生物、糖尿病、高血圧、リスクファクター、健康科学、健康増進・管理、健康教育、健康診断、地域保健法、老人保健事業第 4 次計画、健康日本 21、健康増進法、high risk strategy、population strategy	谷川 武
多因子疾患の遺伝疫学	多因子疾患、complex disease、ヒトゲノム解析、遺伝因子、疾患感受性遺伝子、多型、SNP、マイクロサテライト、連鎖解析、関連解析、HapMap、個の医療、予防医学	土屋 尚之

学習項目	Keywords	担当教員
老人保健	老人保健法、健康事業、健康手帳、健康相談、健康診査、基本健康診査、機能訓練、訪問指導、健康寿命、健康日本 21、介護老人保健施設	戸村 成男
精神保健福祉	精神障害の現状、地域精神保健、予防精神医学、精神保健福祉法、精神障害者福祉、社会復帰施設、精神保健福祉センター、アルコール関連問題、薬物の法的規制	中谷 陽二
医療行政・制度	医療行政、医療制度、医療法規、医療施設、医療従事者、医療の評価、保健・医療・福祉の連携、国際保健	大久保一郎
社会保障と医療保障	社会保障、社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生、年金、医療保険、介護保険、国民皆保険、公費医療、国民医療費、医療費上昇の要因	大久保一郎
法医学と関連法規 (1)	医師法、死体解剖保存法、死亡診断書（死体検案書）、出生証明書、死産証明書（死胎検案書）、異状死体、監察医制度	本田 克也
法医学と関連法規 (2)	親子鑑定、認知、母体保護法、遺伝相談、医事裁判、臓器移植法	本田 克也

コース #19 感染症

Coordinator：人見 重美

学習項目	Keywords	担当教員
臨床微生物学総論	グラム染色、細菌、真菌、ウイルス、マイコプラズマ、リケッチャ、クラミジア	人見 重美
臨床検体の採取法	血液、髄液、尿、喀痰、便	人見 重美
ウイルス感染症	抗ウイルス抗体、ウイルス抗原、遺伝子診断法、抗ウイルス薬	人見 重美
抗生物質の使用法	ペニシリン、セフェム、アミノグリコシド、マクロライド、テトラサイクリン、ニューキノロン、ポリペプチド	人見 重美
消毒と滅菌	物理的滅菌、化学的滅菌、ハロゲン系、アルコール、逆性石ケン	人見 重美
院内感染対策	空気感染、飛沫感染、接触感染、血液媒介感染症	人見 重美
寄生虫症の診断と治療	マラリア、カリニ肺炎、赤痢アメーバ、日本住血吸虫、アニサキス症、蟯虫症、抗寄生虫薬	大前比呂思 (国立感染症研究所)
重症感染症（敗血症・髄膜炎）	検体採取、抗生物質	人見 重美
結核	塗抹、培養、PCR、抗結核薬、N95	福田 潔 (筑波病院)
HIV	エイズ、日和見感染、抗 HIV 薬	大石 毅 (東京医大霞ヶ浦病院)

コース #20 医療総論

Coordinator : 朝田 隆、落合 直之

学習項目	Keywords	担当教員
生殖医学	出生前診断・治療、人工受精、(非配偶者間)体外受精、男女産み分け、生育限界、人工中絶、生命の倫理、Surrogate mother	臼杵 〇
医と法	医師法、刑法、民法、医師・患者関係、インフォームド・コンセント、注意義務、患者の基本的人権、損害賠償責任	小西 知世 (社会科学系)
医療保険制度について	医療保険の仕組みについて、保険診療の実際について	今高 國夫 (茨城県医師会)
医療事故について	医事紛争、医療事故の法的側面、インフォームド・コンセント、がん告知、日医保険、専門医学会保険など	石渡 勇 (茨城県医師会)
医療の安全性	ヒューマン・エラー、ランダム・エラー、システマティック・エラー、スボラディック・エラー、教育、SOP、CRM	本間 覚
医療の有効性	Clinical Epidemiology、EBM、有害反応、費用便益分析、医療の質	長瀬 啓介 (京都大学)
臓器移植	器提供意思表示カード、脳死、臓器移植、異種移植、コーディネーター、臓器配分、愛	大河内信弘
緩和医療	緩和医療、QOL (Quality of life)	木澤 義之
告知と積極的治療の中止について(ロールプレイ)	真実を伝える (Breaking Bad News)	木澤 義之

2. 臨床病理検討会（CPC（2））

2・1 一般学習目標（GIO）

臨床実習（P4）のGIOの11,12に同じ。

2・2 学習方法

- 1) 病院主体の activity の一つとして行われ、学生はこれに参加する。
- 2) したがって内容の level は、教員、レジデントを対象とした高いものとなる。
- 3) 臨床講義室 A において第 2 学期第 5、6 年次を対象として、水曜日の 6 時限に行われる。

- | | | |
|----------------|----------------|---------------|
| ① 5 月 23 日（水） | ② 6 月 20 日（水） | ③ 9 月 26 日（水） |
| ④ 10 月 24 日（水） | ⑤ 11 月 14 日（水） | ⑥ 12 月 5 日（水） |

2・3 学習内容

症例等については約 2 週間前に提示される。

2・4 評 価

総括試験、総合試験

卒 業 試 験

1. 卒業試験の目標

医学専門学群の卒業時点での到達目標は、基本的臨床能力及び基礎的研究能力をそなえた医師である。この目標に向かって学生は、人間個体・地域・社会あるいは人類全体の医学上の問題を正しくとらえ、自ら解決するために必要な基本的知識、技能及び態度・習慣を身につけることが要求されている。卒業試験はこの到達度を評価することを主目的とするものである。

2. 出題範囲

試験の範囲は医学専門学群の専門教育科目全体である。

出題は基礎医学（ヒトの構造と機能の基礎からヒトの正常と病態）、社会医学（ヒトの正常と病態から臨床実習）、臨床医学（ヒトの正常と病態から臨床実習）の全領域。

3. 試験方法

試験は総合試験と、総括講義の各コースに対応する総括試験の2つに大別される。

4. 試験日程

別に定める時間割表のとおりである。